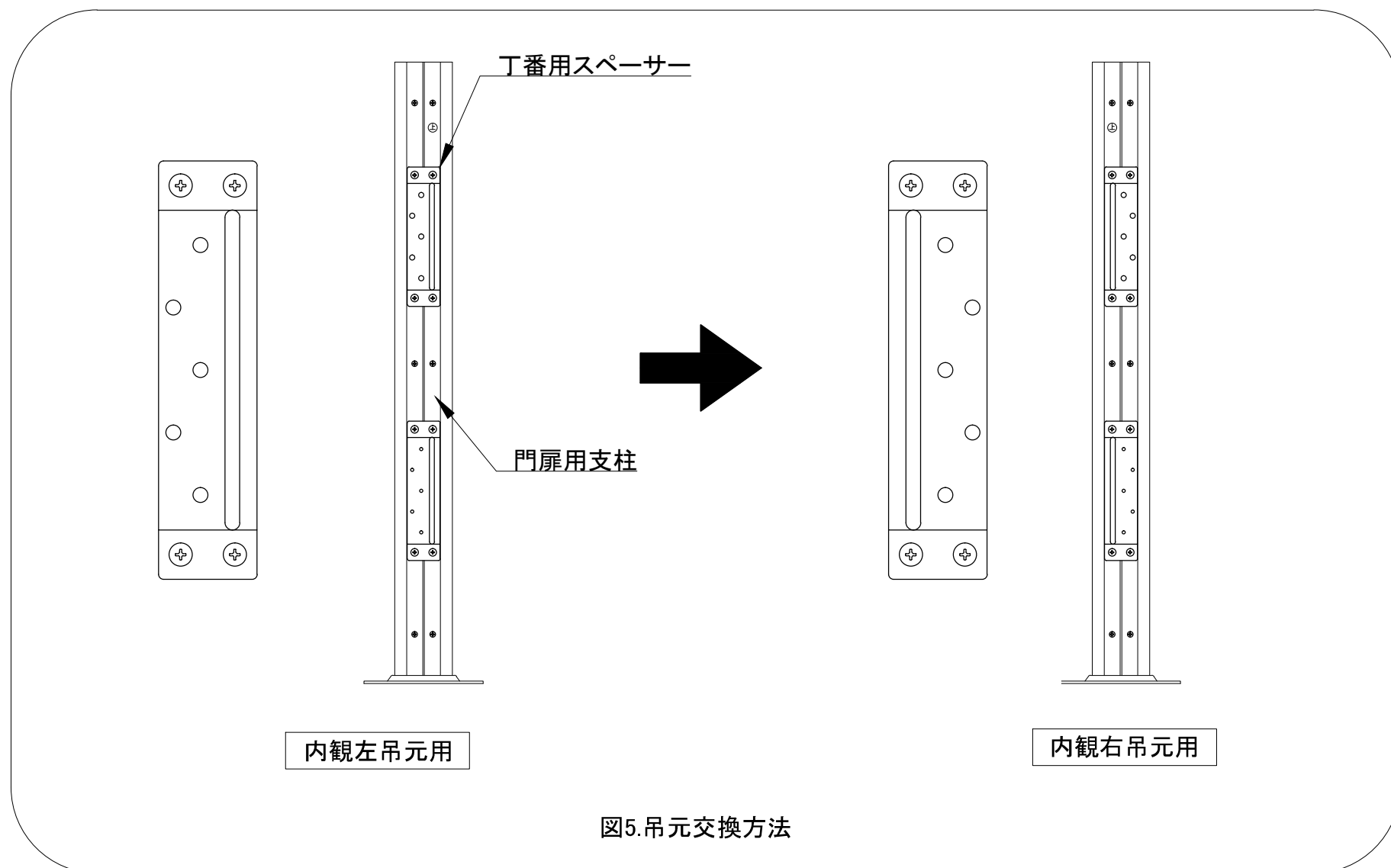


■施工要領(門扉)

② 門扉用支柱の組立

(1) 支柱は、内観左吊元用に部品が取り付けられています。右吊元用にする場合は、丁番用スペーサーを上下反転させて取付け直してください(図5)。



(2) ラティスフェンスの施工要領書を参考にして、門扉用支柱の組立を行ってください(図6)。

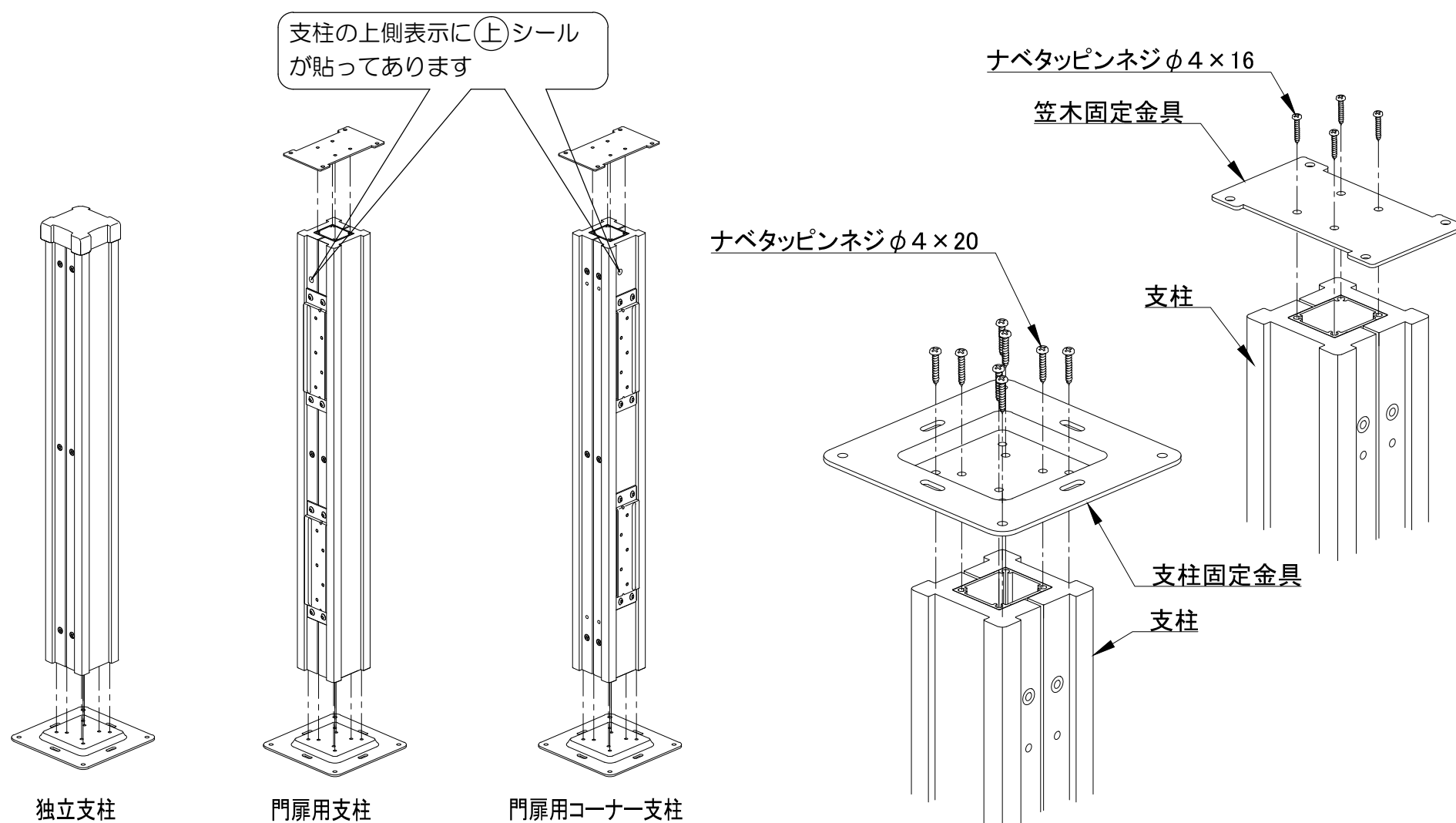


図6.門扉用支柱の組立

■施工要領(門扉)

③門扉用支柱の取付

- (1) 支柱取付位置に支柱を置き、ネジ固定位置に合わせてφ4.5の下穴を開けてください(図7)。
※下穴は、下地補強材、又は大引きまで貫通させてください。
- (2) 支柱固定金具をナベタッピンネジφ5×50で固定して下さい。

注意

独立支柱の向きは、どの向きにも取付けることができます。図8の向きに取り付けると、美しく仕上げることができます。

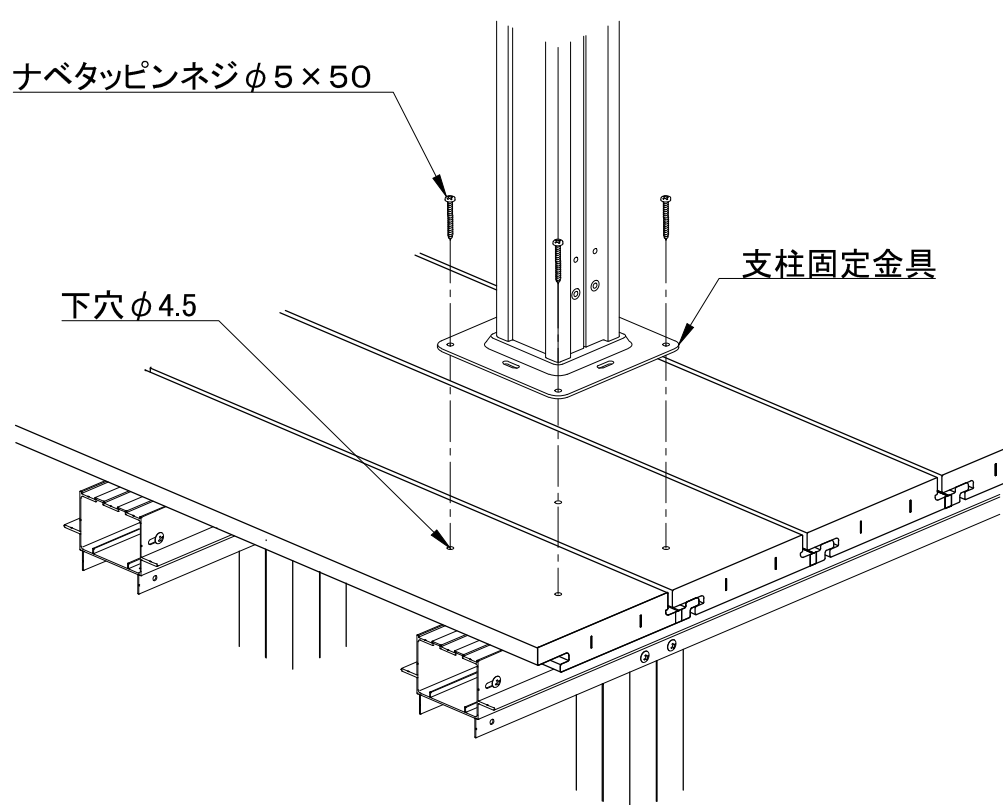


図7. 門扉用支柱の取付

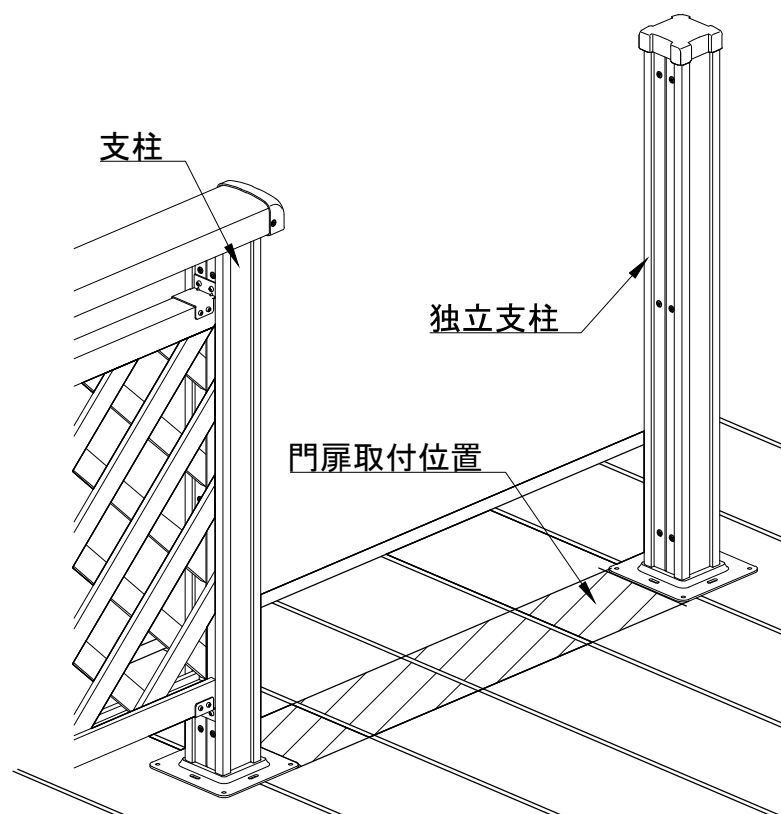


図8. 独立支柱の向き

④門扉の取付

- 門扉用支柱(吊元側)と門扉に取り付いている丁番用スペーサーに、サラ小ネジM4×8で丁番を固定して下さい(図9)。

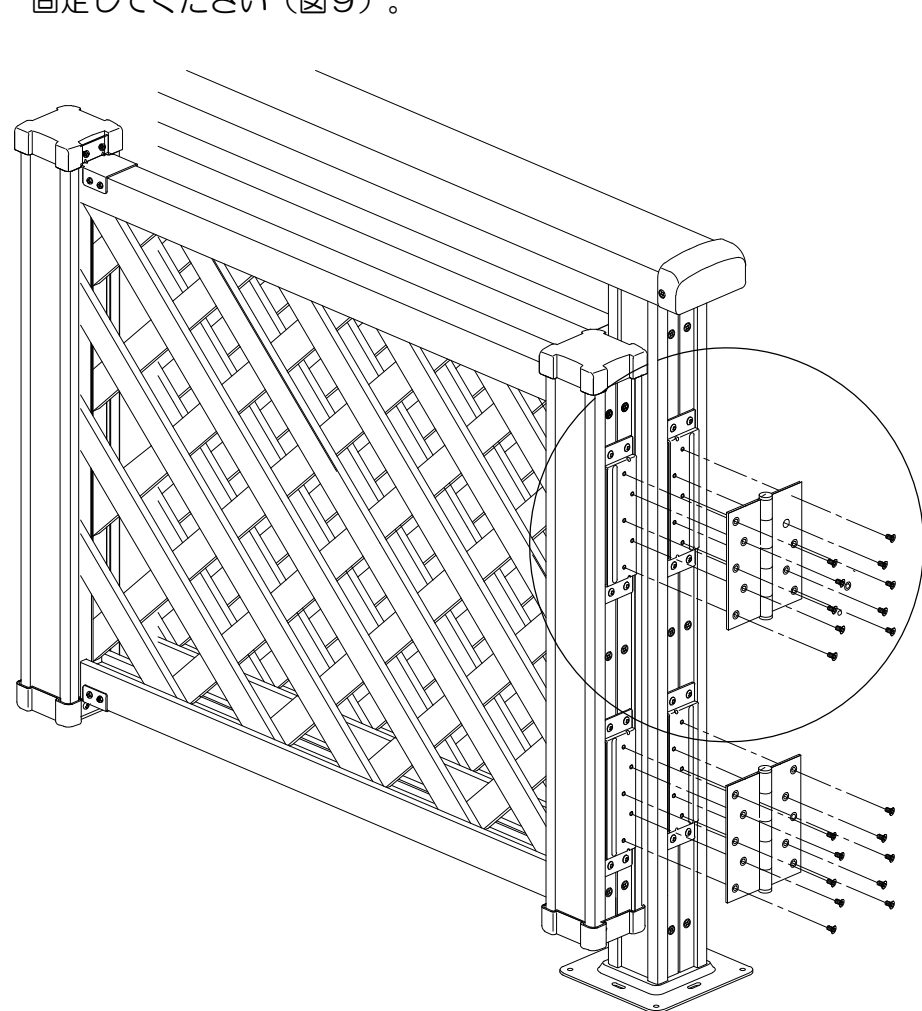


図9. 丁番の取付

注意

丁番は必ず上シールが貼ってある方を上側にして取付けして下さい(図10)。

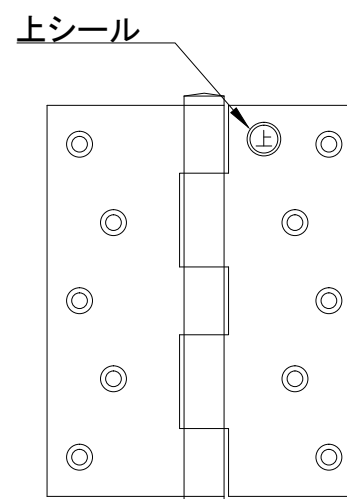
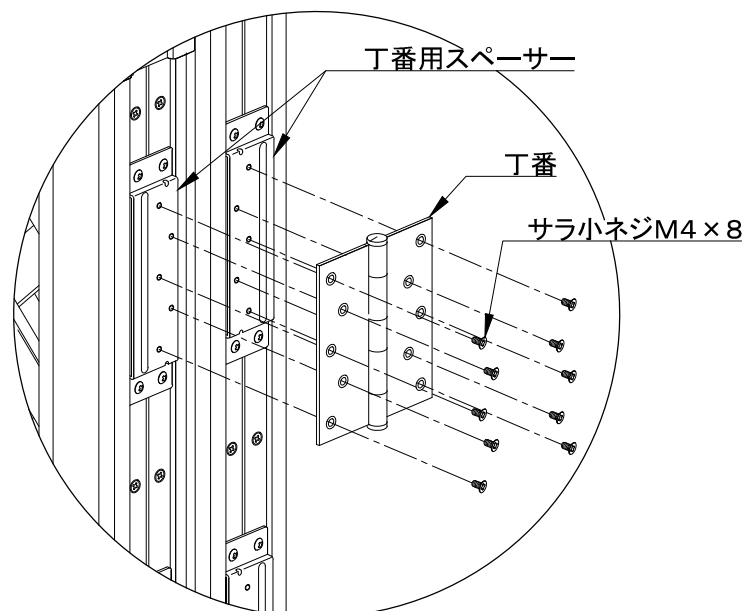


図10. 上シール

■施工要領(門扉)

⑤ 建付け調整

●門扉の建付けが悪い場合は、同梱の建付け調整材を用いて、建付け調整を行ってください。
※戸先側の支柱と門扉の縦枠との隙間（A寸法とB寸法）が同じ寸法でない場合は、
建付け調整をしてください。

（例）内観から見て右側に傾いている場合（図11）

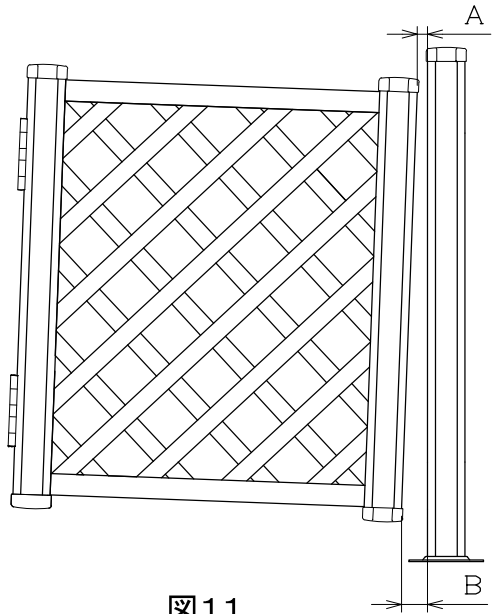


図11

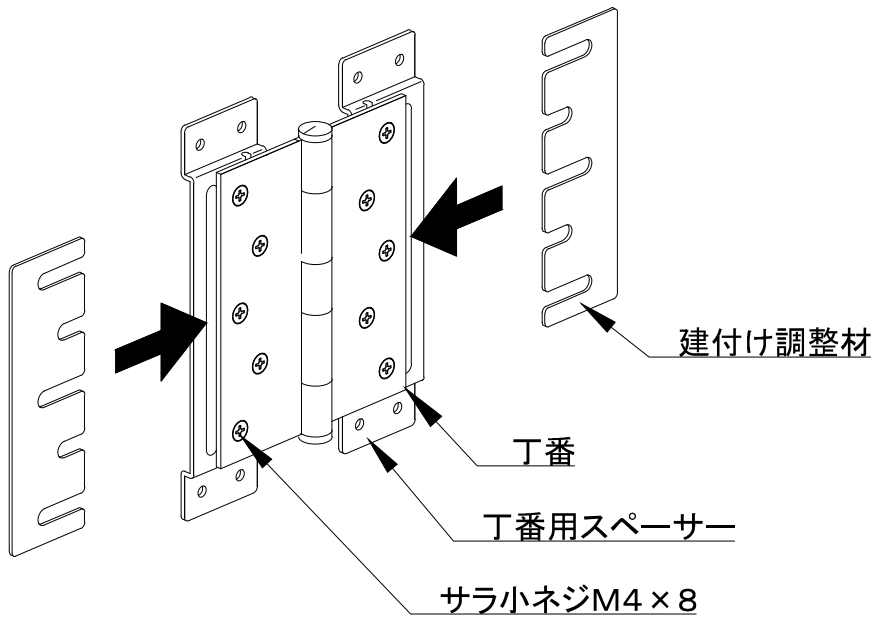


図12. 建付け調整材の取付

- (1) 下側の丁番のサラ小ネジM4×8を緩めて下さい。
- (2) 丁番と丁番用スペーサーの間に建付け調整材を奥まで嵌め込んでください（図11）。
注：建付け調整材は、片側2枚までとして下さい。
- (3) サラ小ネジM4×8を締め直して下さい。

⑥ 内掛け錠の固定

- (1) 門扉の支柱（戸先側）の図13の位置にφ3.5の下穴を開けてください。
- (2) 支柱と対象位置になるように門扉の縦枠にも同様にφ3.5の下穴を開けてください。
- (3) 錠受けスペーサーをバインドドリルネジφ4×25で固定し、内掛け錠をサラ小ネジM4×8で固定してください（図14）。

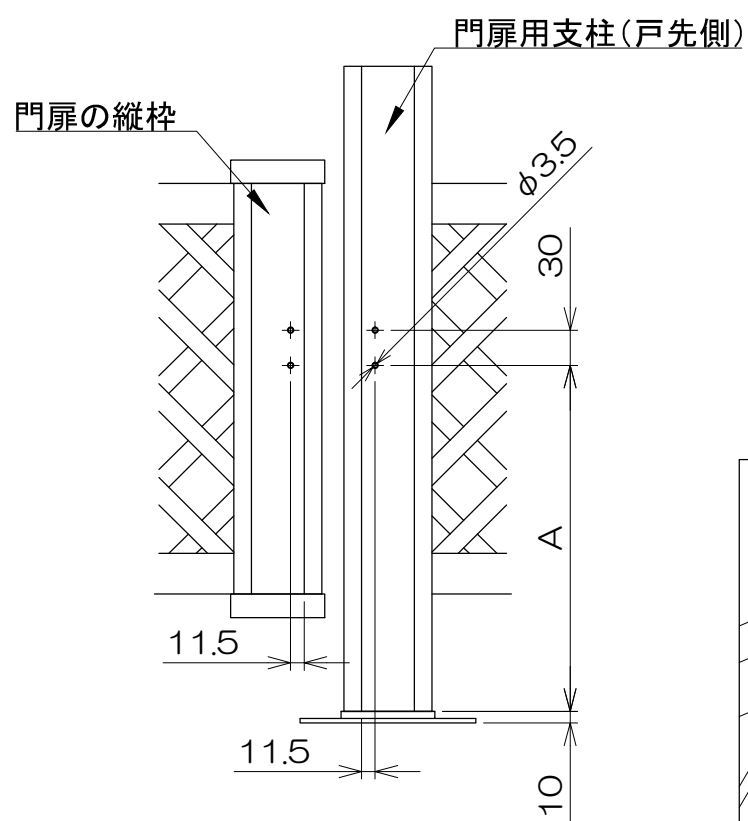


図13. 下穴位置

支柱	A
H1000用	715
H800用	515

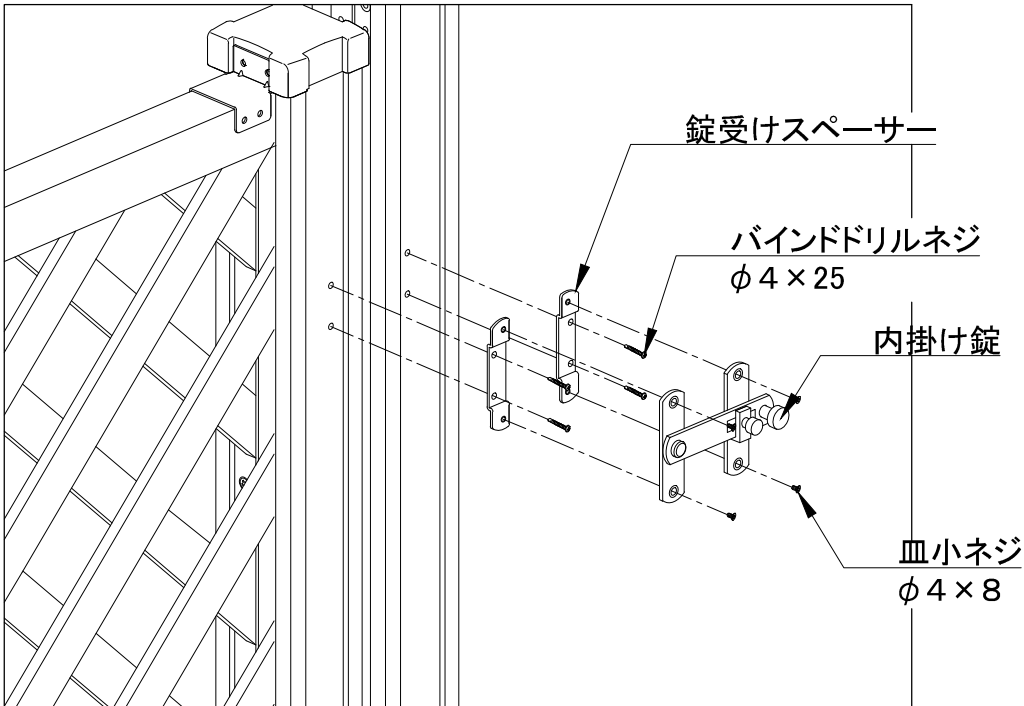
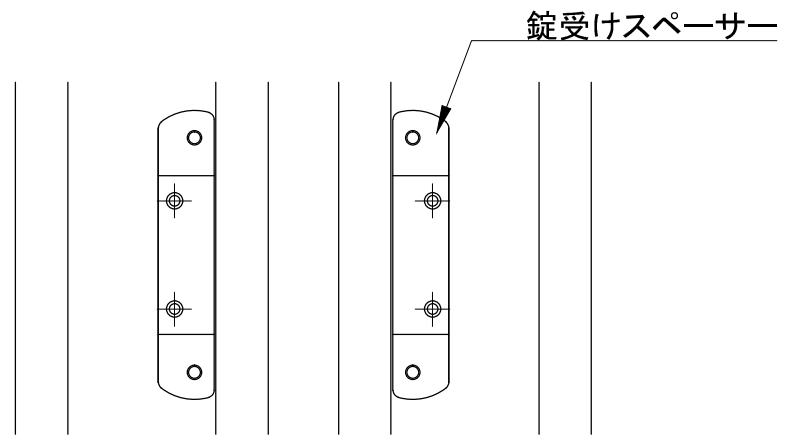


図14.内掛け錠の取付

■施工要領(門扉)

7 戸当たり材の取付け

(1) 門扉(戸先側)に戸当たり材をバインドドリルネジ $\phi 4 \times 25$ で固定して下さい(図14)。

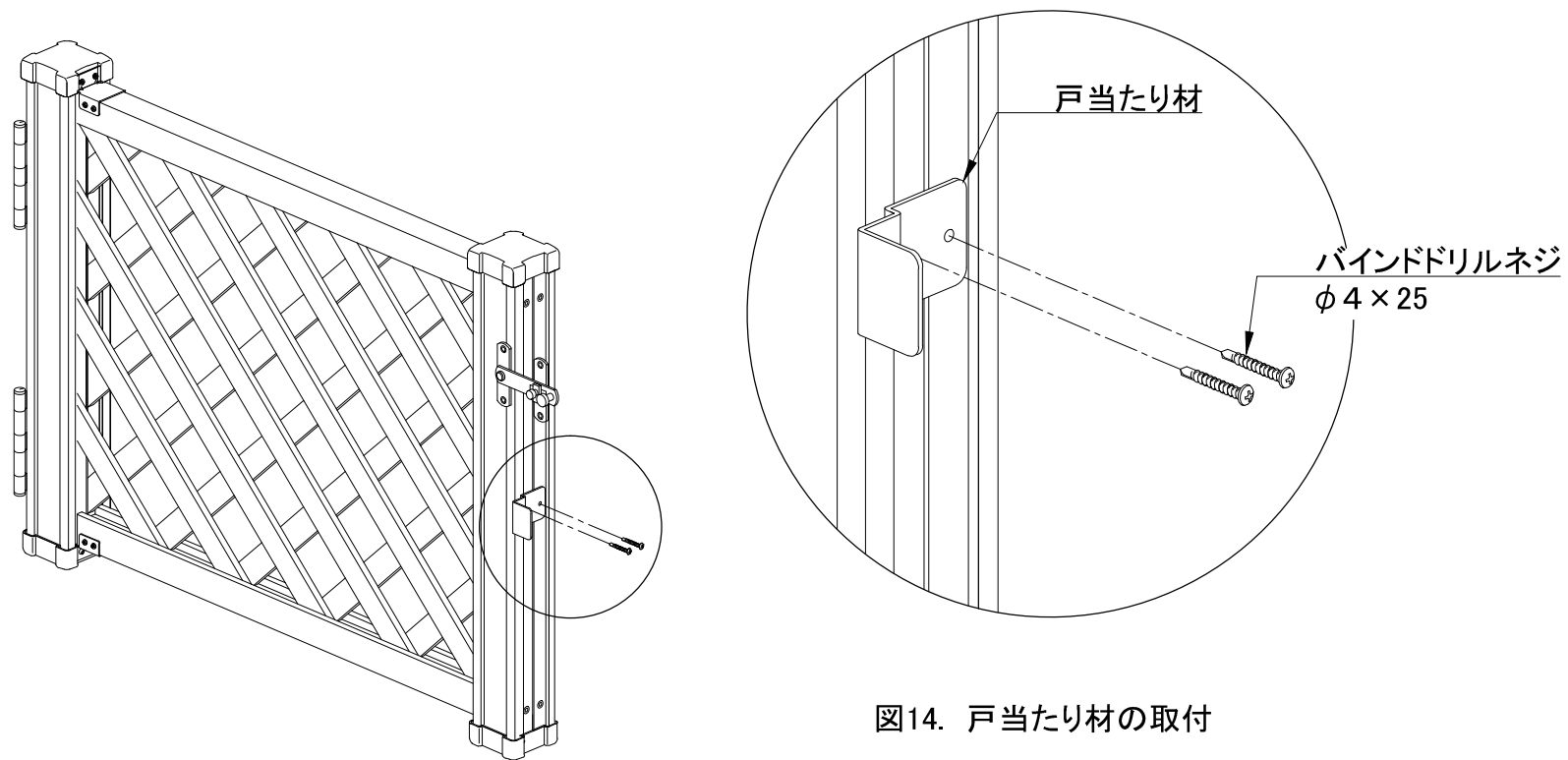


図14. 戸当たり材の取付